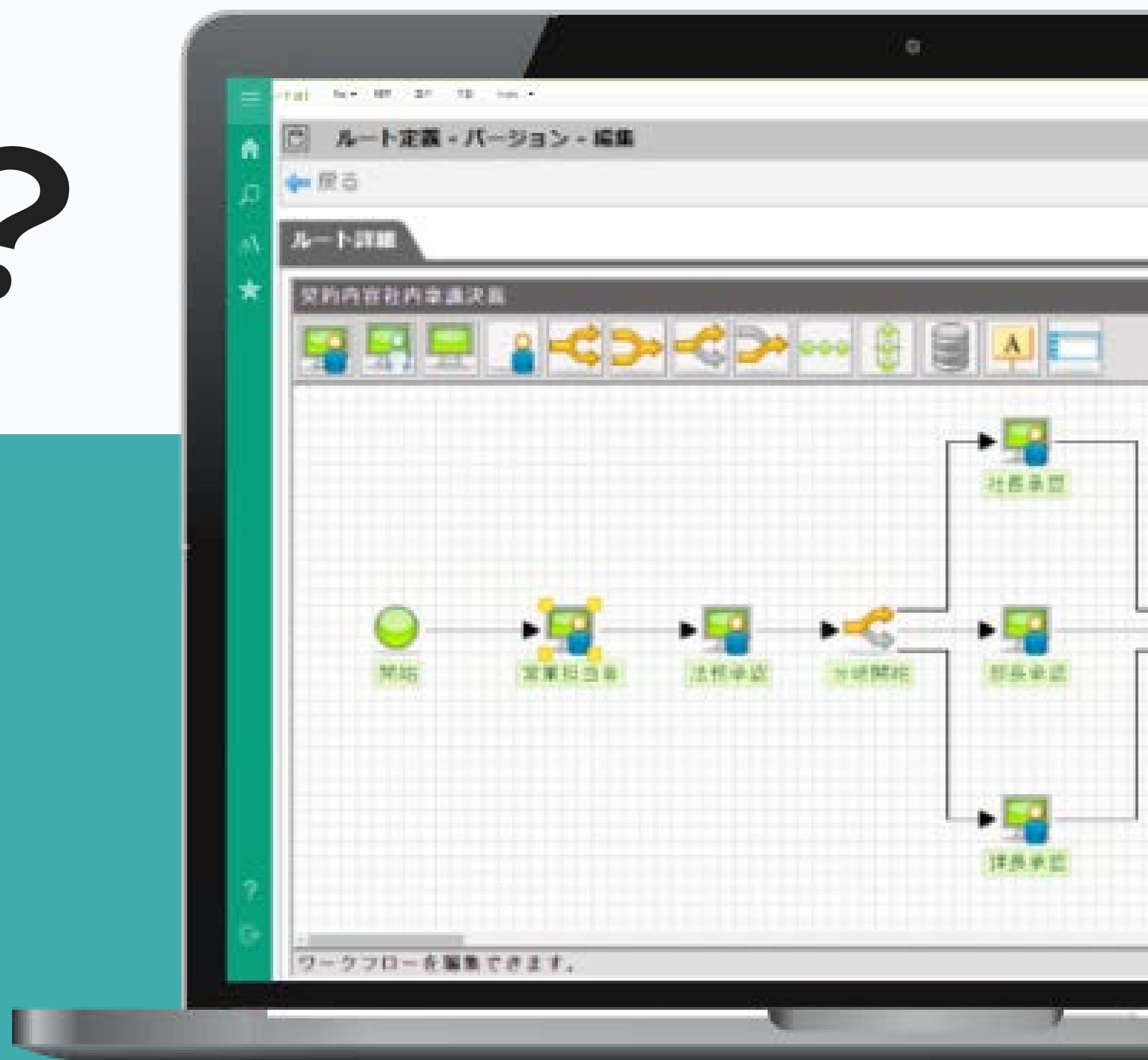


＼働き方改革と業務効率化を実現／

# ワークフローとは？

高成長企業が  
導入する理由



# ワークフローとは？

ワークフローとは、業務の一連の流れや仕事の順序のことです。特に、稟議のための作業や手続き、たとえば、備品の購入申請、交通費精算、休暇申請といったものを指し示すことが多いです。さらに、これらをデジタル上で実現するツールを「ワークフローシステム」、または単に「ワークフロー」とよぶことも少なくありません。

## ワークフローシステムのメリット



- ・システム処理による業務の効率化
- ・内部統制の強化
- ・業務プロセスの可視化
- ・ペーパレス化によるコスト削減
- ・デジタル化による柔軟な働き方の提供

## ワークフローシステムのデメリット



- ・システムを導入するためのコストがかかる
- ・業務プロセスの見直しが必要になる
- ・既存システムと連携出来ない場合がある
- ・アップデートやシステム改修によるランニングコスト

# 解決する課題

ワークフローシステムの導入で、申請書類の電子化や業務プロセスの可視化が可能になり、業務の効率化を実現できます。具体的にどのような課題を解決できるのかを紹介します。

### 課題①：申請書の作成に時間がかかる

課

紙に印刷した書類に手書きで記入して送付しなければならない所定のフォーマットが見つからない。

解

業務に必要な申請がシステム上にすべて一覧化され、迷わずに申請可能。入力チェックが自動化されて申請業務にかかっていた時間を大きく削減。

### 課題②：承認のための確認に時間がかかる

課

紙への印鑑押印のために出社。申請内容のチェックのために過去の内容や関係者への確認が多く発生する。

解

紙媒体の書類がすべて電子化されることで印刷・送付・押印の作業時間を削減。申請内容によって関係者に自動通知し、申請から承認のタイムロスを削減。

### 課題③：セキュリティ対応不足

課

メールに電子ファイルを添付送信する際の誤送信が心配。紙の書類の紛失・盗難、改ざんによる情報漏えいを懸念。

解

業務データをすべてワークフローシステム上で管理することで従業員の端末や紙の書類からの情報流出事故やリスクを削減。

# 導入効果

ワークフローシステムを導入して業務手続きを電子化することによる効果や、会計管理や在庫管理といった既存システムと連携することによる効果で、柔軟な働き方を実現出来るなど様々な良い成果が期待できます。

## 1. 柔軟な働き方を実現



ワークフローシステムを導入すると従業員が時間や場所に縛られることが無く、申請や承認ができる環境が得られます。日々の業務手続をテレワークで行えるようになると、自宅で働く従業員が増え、労働力の向上に繋がります。営業などで外出している従業員がスマホを使用したりするなど、会社にいることが少ない人の業務も外出先で実施可能。迅速な手続きが可能になり、組織の生産性が向上します。

## 2. ペーパーレス化



手続きを電子化することで、印刷や送付にかかっていた作業時間やコストの削減が可能になります。これによりグローバル企業として高成長するために必要不可欠な、持続可能な社会の実現に向けた「SDGs」(※)への目標に対する貢献が期待できます。

※「SDGs」：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

## 3. 業務の可視化



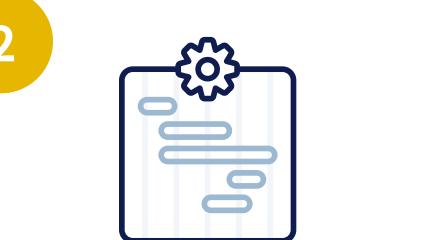
紙書類のみだったり電子ファイルをメールで共有するのみでは、業務全体の状況の把握に時間がかかります。データの取りまとめやレポートの作成をリアルタイムにして、迅速な経営判断を実施するためのワークフローシステムを構築することで、まずは業務や業務プロセスの可視化から取り組みを始め、データの活用が可能となるシステム基盤へとステップアップして組織のさらなる成長を目指すことが可能です。

# 導入する手順

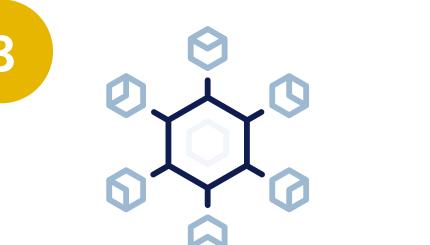
まず、ワークフローシステム導入の推進者を決めましょう。この推進者は、現状の調査や導入するワークフローシステムの選定、導入後の利用促進、トラブル発生時の対応窓口などを担います。情報システム担当部門と、ユーザー部門である現場の担当者の双方から推進者を選出してチームを組めるとベストです。



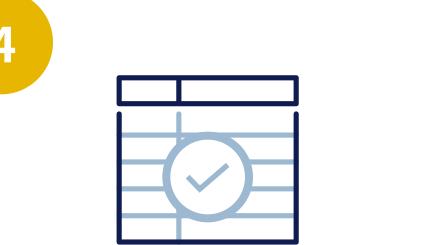
### 導入の推進者を決める



### 業務プロセスの現状に対する調査



### 業務プロセスの見直し・改善



### 選定・契約

導入前の社内の業務プロセスがどのようなものか、また、その中でどのような課題があるかなど、現状を調査します。1件の提出から完了までにかかる時間など、書類を確認して把握できる内容に加え、ミスが起きやすい箇所などを直接ヒアリングする場も設け、課題を具体的に把握しましょう。

調査結果と、浮き彫りになった課題を元に、改善を加え、業務プロセスのあるべき姿を描き直しましょう。似たような申請のフォーマットはまとめる、稟議の内容によっては必要な承認数を減らすなど、より効率的な方向で変更を検討し、業務プロセスを再定義します。さらに、再定義した業務プロセスについて、社内の承認を得ましょう。

見直しを行った新しい業務プロセスでの運用を前提とし、導入すべきワークフローシステムを選定します。

既存システムとの連携の有無や搭載機能のほか、料金体系や金額が予算と合うかどうか、サポート体制などの項目をチェックして、自社に合ったものを選ぶ必要があります。

# ワークフローシステムの選び方

数あるワークフローシステムの中から自社に合ったものを選定するには、どんな点に注意したら良いのでしょうか？



利用規模



製品選定



拡張性



料金

## 1. 利用規模に合わせて選ぶ



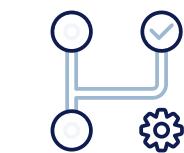
業務プロセスが複雑ではなかったり、部門利用のみの場合は中小企業向けのワークフローシステム。長期間の運用や全社規模の利用の場合は大規模・長期運用向けのワークフローシステム。

## 2. 自社の業務プロセスに合ったシステムを選ぶ



簡単な条件分岐にしか対応していない、複数の決裁ルートを登録出来ない、という問題を事前に把握するために自社業務に必要な機能を確認する。

## 3. システム間連携の拡張性を確認する



申請データをシステム間でシームレスに連携可能なワークフローシステムであれば、導入後の拡張も可能。カスタマイズが可能なものか、可能だとしたら自社でも行えるのか、難易度や費用などを確認。

## 4. 料金体系や金額が自社の希望と合うか

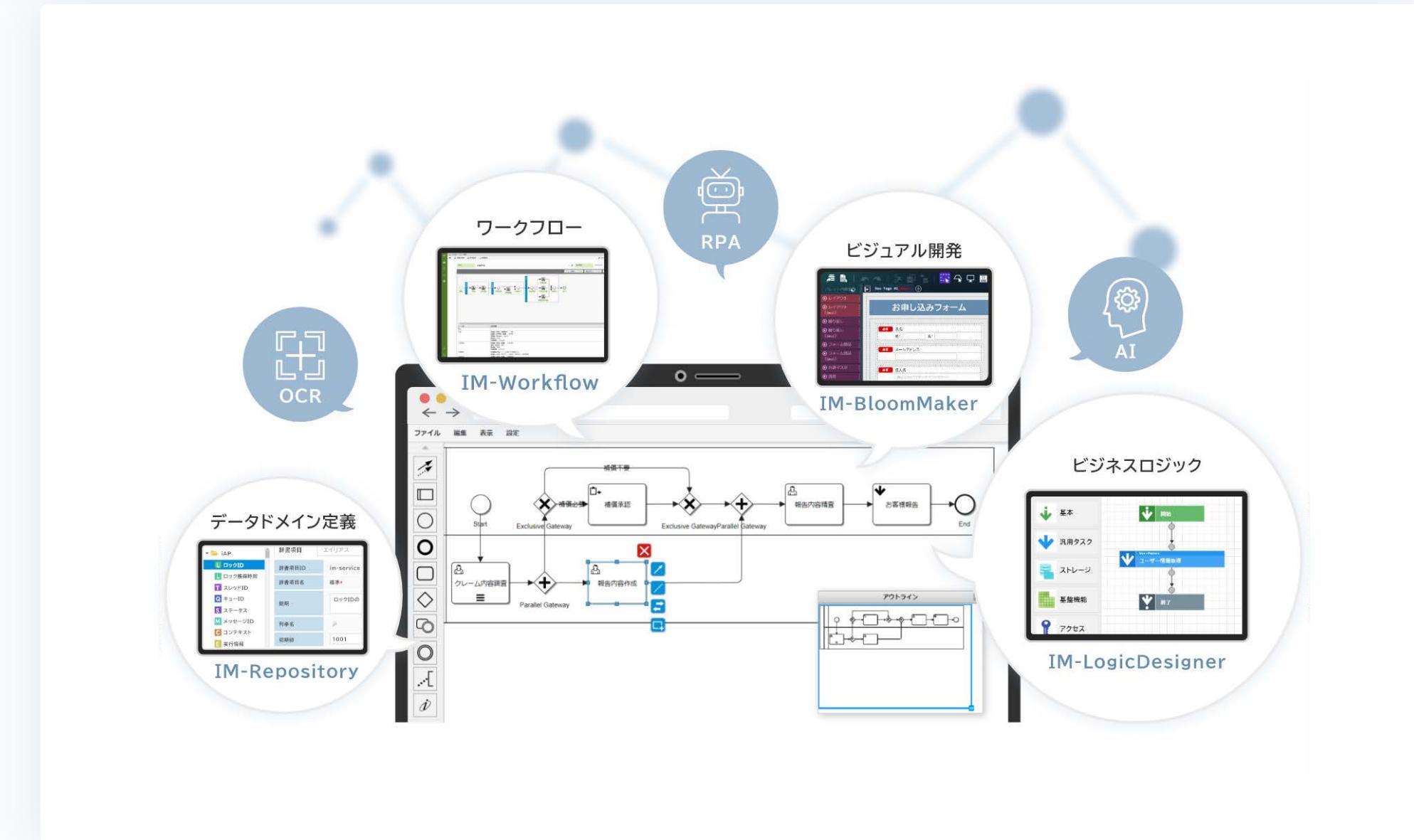


料金体系や金額が自社の希望と合うか、月額料金や年額料金は発生するのか、カード決済は利用できるかなど、予算に見合った金額であることはもちろん、自社の都合と合うものを選ぶ必要がある。

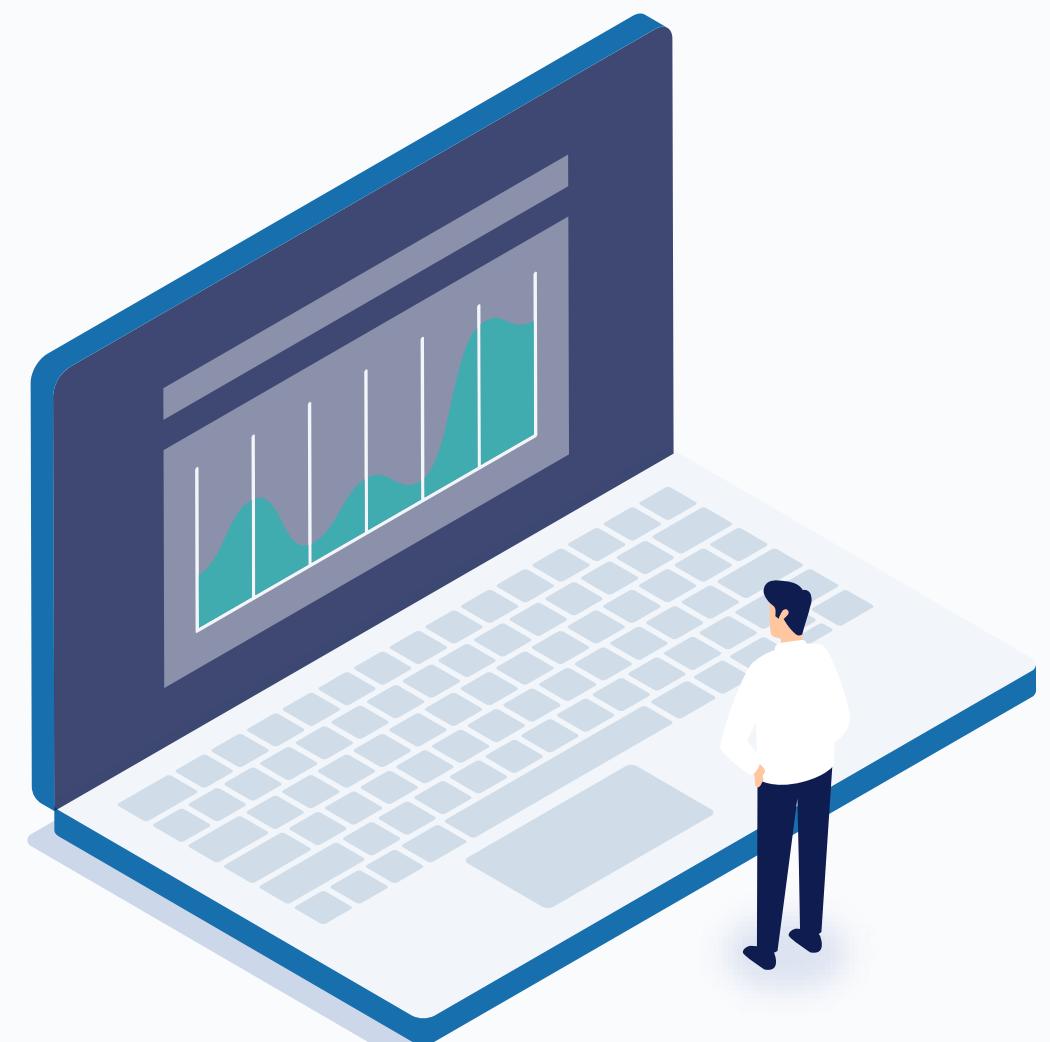
# サービス概要

# Accel-Martとは

Accel-Martは、プログラミング初心者から上級者まで、業務用アプリを開発できるプライベートクラウドサービスです。プログラミングの知識がなくても簡単に業務用アプリを開発できる「Quick（クイック）」と、プログラミング知識のある方向けに業務用アプリに必要な開発環境を充実させた「Plus（プラス）」の2種類をご用意しています。



# プロレベルの業務アプリケーションを簡単に構築



## すぐに始められる

事前に構築されたテンプレート、ドラッグ＆ドロップでの簡単操作、すばやいデプロイ機能を使用して、今すぐアプリケーションを構築できます。

Accel-Mart Quickはお申込みから最短30分でご利用可能

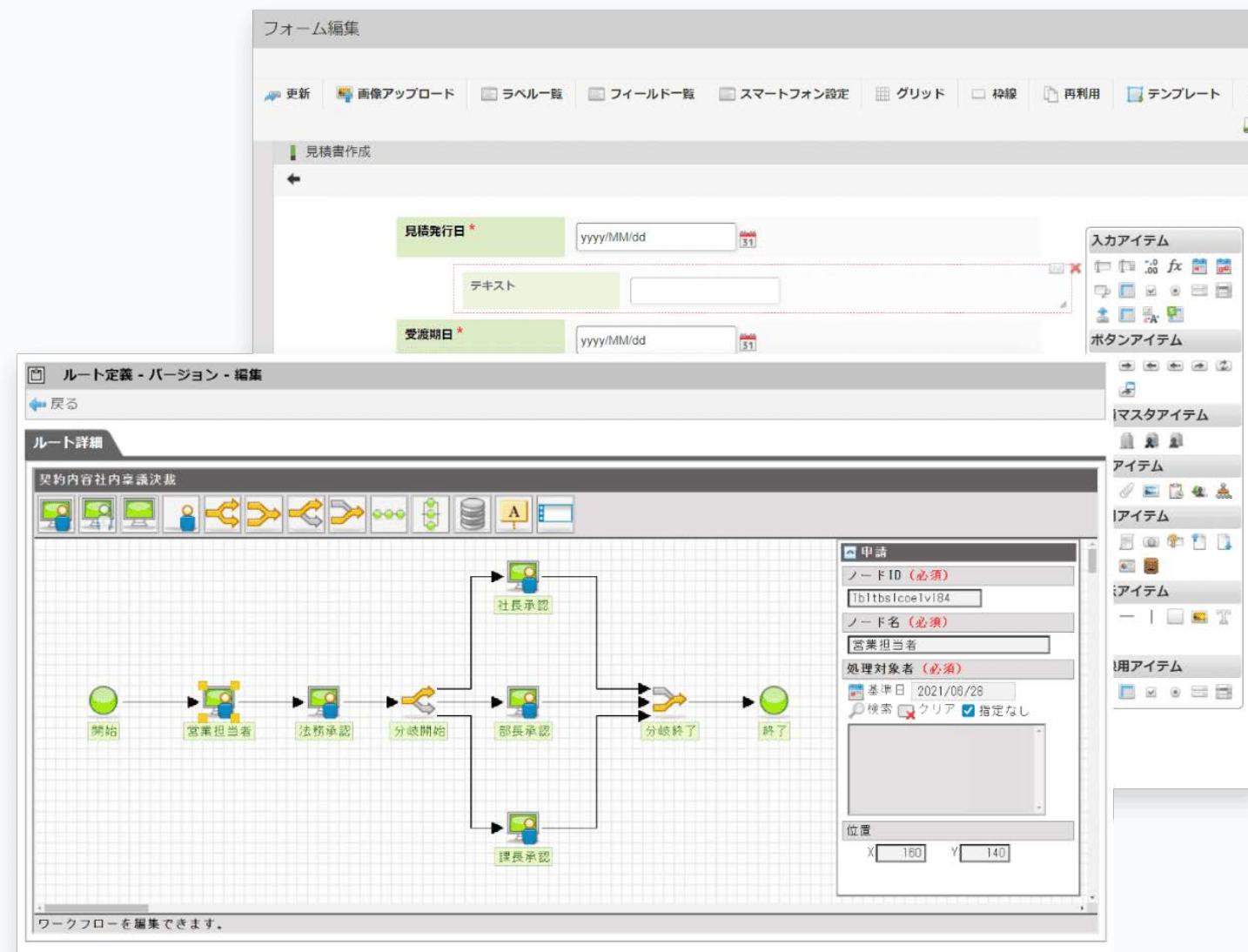
## アプリを構築する

intra-martのローコード開発を利用して、お客様の業務に合わせた適切なトレーニングにより、現在の業務部門担当者をシステムに精通した専門家に変えることができます。事前に構築されたUIコンポーネントや業務ロジッ

## 開発者による拡張

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、プログラミング知識がない方でも開発可能です。intra-martのローコード開発機能ではドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単にシステムを構築可能で、業務の変化にも柔軟に

# 様々な業務パターンをカバーするワークフロー



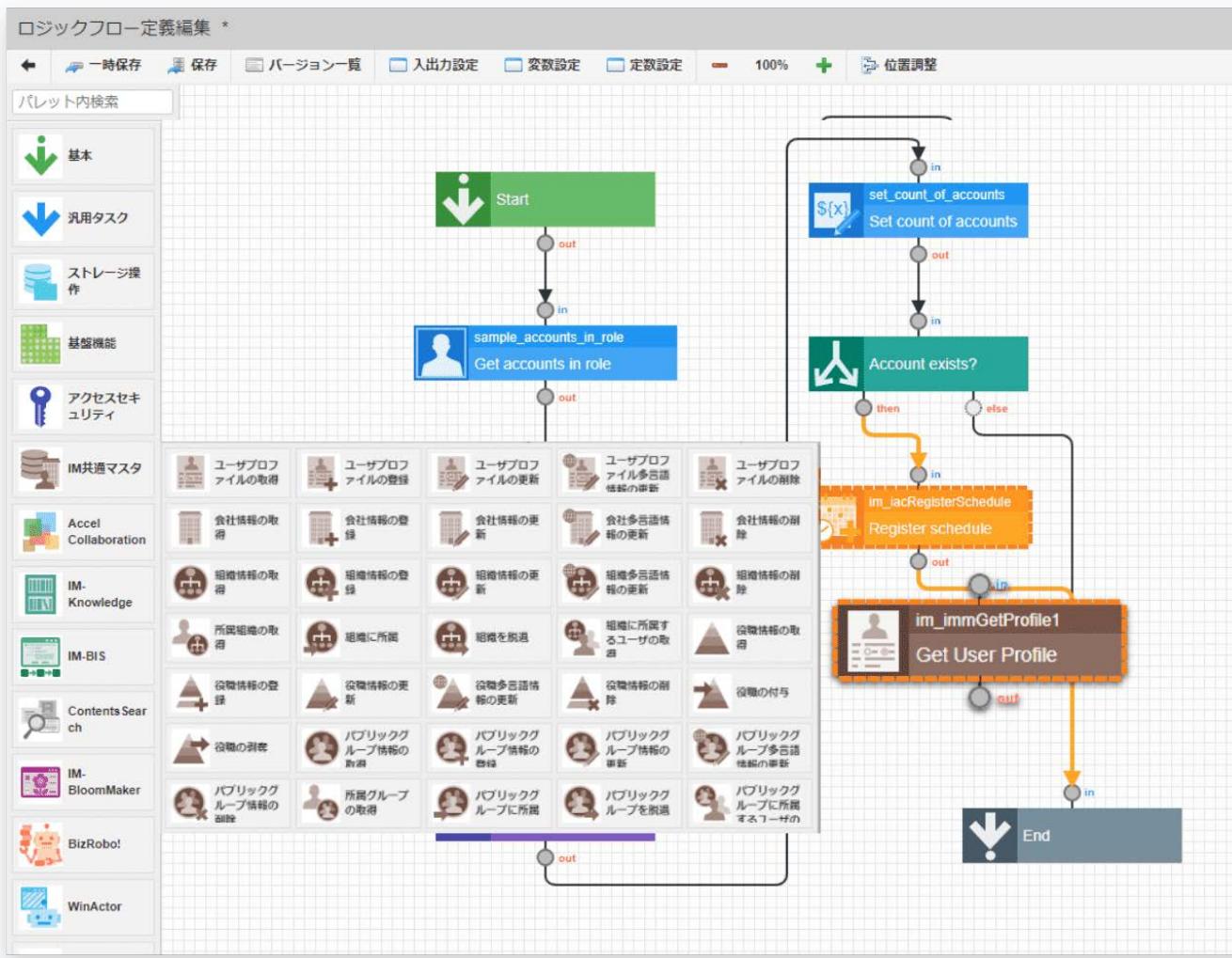
## 多彩なテンプレート

様々な用途に合わせた業界・業種別のワークフローテンプレートを100種類以上ご用意しています。テンプレート以外にも、自社にあった申請・承認画面をノンプログラミングでドラッグ＆ドロップで簡単に作成することもで

## 複雑な承認ルートを簡単実現

簡易なワークフロー機能を搭載したプラットフォームはもちろん、他のワークフローシステムでもここまで の自由度はありません。複数部門による申請・承認や条件分岐から別のワークフローへの連携まで、複雑な申請・決

# 柔軟につながる、システム連携



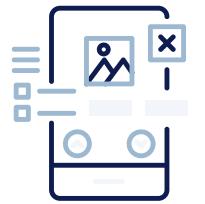
## 柔軟につながる、システム連携

業務プロセスの中には、人や紙によるアナログ作業や複雑な処理も混在しています。イントラマートには、これらの処理を円滑に行うための、AI・RPAなどのデジタル技術や様々な既存システムや他システムと連携を可能とするコンポーネントを準備しています。

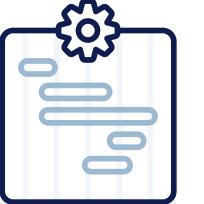
取引先を含めた、複雑なオペレーションもシームレスにこなすことができます。

# 機能一覧

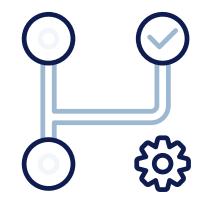
Accel-Martには、豊富な機能が充実。  
ローコード開発、BPM/ワークフローなど業務アプリに欠かせない機能をお使いい



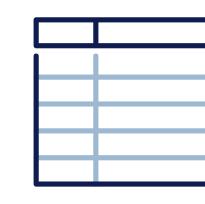
ローコード開発



ワークフロー



BPM



スプレッドシート



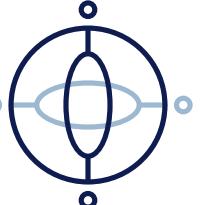
チュートリアル



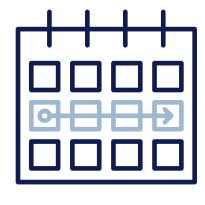
業務テンプレート



社内ポータル



Wiki



スケジュール



会議室予約



社内SNS



他システム連携

インフォメーション

認証・認可

マスタ管理

ドキュメント管理

全文検索

表・グラフ自動作成

# 人数規模・使用用途で選べる2プラン

利用いただく人数規模や使用したい項目数に応じて柔軟に対応できるように2つのプランを用意しています。



## Accel-Mart Quick

Accel-Mart Quickは少数規模からご利用いただけるエントリープランです。申し込みから最短30分で導入可能です。プログラミング初心者でも安心してご利用いただけます。

### こんな方にオススメです

- 業務用アプリをコストを抑えて開発したい
- 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現したい
- なるべく早く業務用アプリを開発したい



## Accel-Mart Plus

Accel-Mart Plusは全社規模向けに推奨するプランです。クラウド上で本格的に開発することができます。

### こんな方にオススメです

- 全社規模で本格的に業務システムを開発・利用したい
- システム構築にかかっていた時間/コストをカットしたい
- 全社レベルでの大規模な業務改善から改革をしたい

料金・プランの詳細は下記をご参照ください。

<https://www.accel-mart.com/price.html>

# Accel-Mart Quick 導入の流れ

- 01
- 02
- 03
- 04

## 試用

31日間すべての機能を無料でお試しいただけます。

## 本登録

トライアル版終了後、本登録が完了すると有償でのご利用開始となります。

## 開通

トライアル版のデータを引き継ぐことも、新規で環境を用意することもできます。

## 運用拡大

サービス導入効果を最大化し、成功に導くためのカスタマーサクセスをご用意しています。

31日間の無料お試し実施中

[https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel\\_mart\\_quick\\_admin/entry](https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel_mart_quick_admin/entry)

# Accel-Mart Plus 導入の流れ

01

## お問い合わせ

まずはお気軽にお問い合わせください。担当営業よりお客様の課題点をヒアリングさせていただきます。

02

## お見積り・ご発注

担当営業よりお客様にあったプランをご紹介させていただきます。

03

## 利用開始

お申し込み日より最短5営業日で、すぐに使える環境をご提供します。

04

## お支払い・お振り込み

月額支払と開始月一括払いのどちらかを選択していただきます。

お気軽にお問い合わせください！

<https://www.accel-mart.com/contact/>



まずはお気軽にお問い合わせください。

弊社担当がお客様にあったプランをご紹介させていただきます。

<https://www.accel-mart.com/contact/>

31日間の無料お試し実施中

<https://www.accel-mart.com/trial/>